



8月保健だより

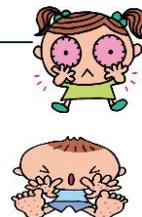
令和3年7月30日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

「夏に発症しやすい感染症について」

夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- ・高熱が出る
- ・目の充血、痛みがある
- ・のどが赤くはれ痛みが
- ・体に発疹が出る

これらの特徴があり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。登園の際には『登園許可書』の提出をお願いします。



8月の予定

3日（火）身体測定

4日（水）乳児検診

虫刺されについて

虫刺されの症状はそれぞれの虫に対して刺された回数によって症状が異なり同種類の虫に刺される回数が多くなるに従い激しい症状が出てきます。

<特徴>



【0歳児】虫に刺されても無反応か半日から1日程度で赤いぼちちが消えてしまう程度

【1～5歳児】数時間経過してから刺された部位の腫れ・水ぶくれ、しこりや痒みが強く出現

【6歳以降から大人】刺され数分後から蕁麻疹のような台地状の盛り上がりが出現し半日程度で症状が落ち着く

★虫刺されの症状に個人差が出るのは虫刺されの回数が影響しているようです★

暑い時期に注意！

市販の清涼飲料水にはたくさんの糖分が含まれています。

スティックシュガー（1本3g）で換算すると…

*フルーツジュース（500ml）→19本 *炭酸飲料（500ml）→19本

*乳酸菌飲料（500ml）→18本 *〇〇風味ミネラルウォーター（500ml）→7本

*スポーツドリンク（500ml）→8～11本

清涼飲料水の飲みすぎで（糖分の過剰摂取）で「ペットボトル症候群」を突然発症してしまうことがあります。（吐き気・頭痛・意識がもうろうとする症状）飲む量と時間を守り日常の水分補給は、お水かお茶を習慣づけ、子ども達の健康を守りましょう。



7月は RSウイルス感染症の報告が9名ありました。

手足口病・ヘルパンギーナの発症は症状回復後、便の中にウイルスが排出されています。

【登園後7日間はシャワー対応になります】

青梅市のコロナ感染患者数は7月2日時点で818名、7月27日時点で897名でした。